

# 木村ラボ

木村ラボでは「10年後の多様な社会で生きて働く力をつけるための新しい学校をデザインする」をテーマにワークショップを開催しました。

単なる理想の学校を語り合うのではなく、「10年後の社会はどんな社会か」「10年後の社会に必要な力とは何か」「そのために学校で何を学ぶのか」等、目的に向かう道筋、方法は様々で、議論は長時間にわたり行われました。

ワークショップの最後には、それぞれのグループがデザインした学校を紹介し合いました。どのグループの学校も中心には「子ども」がありました。

参加者からは、「『誰かがやってくれる』状態、『指示待ち』状態からの脱却を自分がして、チャレンジしていきたいと思いました。改めて合宿のときのような熱い気持ちを思い出した。」という声がありました。

